

## 定例会議8月分（事故の予防について2回目 ひやりはっど）の感想

入浴時など身体介護の時の注意点がみなさんのお話でよくわかりました。お姫様抱っこなど介護はやはり体力と力量が必要だと思いました。

熱中症には引き続き気を付けて利用者さんの体調に気を配ります。事故が起きないように、気を緩めずに注意しながら支援します。

熱中症対策をしているつもりではいますが、もっと気をつけて利用者様、自分自身対策していかないといけないと思います。他の方の感想など参考にして勉強していきたいと思いました。

今年度＊前回の振り返りで、皆さんの感想を見て、気づきに大変勉強になった。自分も同じ事を感じていても、言葉にする事の大切さを知った。大きな事故にならないように、ヒヤリハットを心掛けて未然に防げるように心掛けたい。

私は、ひかりでは、利用者様の身体介護は、したことごありませんか、日頃、働いているディサービスでは、毎日、お風呂、プール、での更衣会場やトイレ介助、パワーリハビリでの、移乗、送迎での移乗や室内のベッド迄の歩行介助。色々してるなかで、今日の話しにも出てきましたが、身体の異変（あざや湿疹、傷等）は、常に注意して見ます。それと、顔色や呂律、こちらからの指示の入り方、シャワーのお湯の確認、本当に、どこにでもひやりハット！ は、潜んでいます。それを、自分で予見し想像しながら、介護する事が大切だと思います。

でも、危険を怖がって、何でも、介助者がしてしまうと、介護されてる方の、潜在能力を、引き出せなかったり、落ちていくADLを少しでも送らせてあげるのが、私たちの仕事だと思います。障がい者と高齢者は、違うかも知れませんが、私は、いつも、上記の事を心におきながら、仕事をしています。10円のお金を頂いても、プロです。プロと、言うのはそれだけ、責任を持って仕事をするのがプロだと思っています

## 定例会議8月分（事故の予防について2回目 ひやりはっと）の感想

定例会議の感想を見ていると、みんなは文章を上手書かれるなっと思います。私は文章は苦手なので上手く書けません。仕事のケアの内容で頑張りたいと思います。

前回に引き続きヒヤリハット大変勉強になりました。会議でも各ヘルパーさん多種多様な意見があり勉強になり、実践に反映出来ればと思いました。

猛暑が続いているので、外出、特に室内ですっと居られる利用者さんは水分を取ろうとしないので促していこうと思います。ヒヤリハットは、人の目線が違くと気づくことも違うので参考になります。

ひやりはっとの注意てんを共有について居宅の場合についてはほとんどわからなかったのですが皆さんの発言を聞いてなるほどなと思いました。

皆さんの感想からも学べるがありました。なるほど思ったことを支援に活かすようにしたいです。支援でも日常生活でもちょっとしたことに気を配れるようにしたいと思いました。それが働きやすさ生活しやすさにつながるなあと。

毎回同じ介護をさせて貰っていると慣れてきて緊張感が希薄になりがちです。改めて気を引き締めて介護に臨みたいと思います。

ヒヤリハットに備える為に、常に想像力を持って支援する事が必要だと思いました。

## 定例会議8月分（事故の予防について2回目 ひやりはっつ）の感想

熱中症予防のポイントについてを、再度確認させて頂きました。外出の場合のうちあわせに、体調は必ず確認し、朝食や、睡眠時間などの確認は、重要だと思いました。

毎日、暑い日が続いているので熱中症対策を気をつけていますがヘルパーの言うことをきかない利用者さんにたいしての方法を試行錯誤しながら行っています〔水分補給しない、帽子をかぶらないなど〕ヘルパーがある程度の準備や心構えが必要ですが利用者さんが納得できています。〔ヘルパーが飲み物の準備や帽子をもっていき必要なときに利用者さんに差し出せるなど〕

自分だけの考え方でなく他のヘルパーさんの意見が聞いて良かったです。改めて熱中症、気をつける。

P.17の事例検討の際、自然と力のある男性が介助と判断しながら聞いてました。

話が進む中で他のヘルパーさん達の意見がとても参考になりました。事例から考えられる点をすぐに言語化出来なくて残念に思ってます。ただ普段から心掛けている支援開始時の挨拶から利用者様の様子を伺い、指示を受け支援する中で更に体調を把握して適切に支

熱中症は利用者さんもですがヘルパーも危険なこと今年は自身でもよく感じます。自身が危険を感じた時は利用者さんにも伝えて対処してもらうことも必要かなと感じています。

支援者さんの体調を五感で確認しながら暑さ対策ヒヤリハットを無くせるようにしたいと思います。ななちゃんさん宜しくお願いします。

## 定例会議8月分（事故の予防について2回目 ひやりはっど）の感想

更に暑さ厳しいなか熱中症予防、利用者さんたくのクーラー使用状況（高齢者）などにきをつけなければと再認識。

ヘルパー研修の時に入浴介助は裸で掴むものが無いので、出来るだけ移動の時は身体に密着するのが良いと教えられたのを、常に頭に入れ、実践しています。毎回緊張します。

事故の想定を考えて行動をすればヒヤリハットも軽減される。利用者様の大丈夫は鵜呑みにしない利用者様の状態をよく観察して判断する。それらを念頭に支援をしたいと思います。

ひやりはっどの事例において前回もそうですが、事例を用いての説明があったのでとても分かりやすかったです。自分はまだ経験が浅い為、予防策や気をつけることについて今後の支援の中で見つけていこうと思いました。

前回、前々回の会議の再確認が出来、他の介護者の感想や、事例等を例に挙げる事により自分自身では、気が付かない所への不安や疑問が勉強になりました。

本日参加された方々は、利用者様との関わりで、どのような事について気をつけて仕事されているのかを聞く事ができて勉強になりました。少しのヒヤリハットも見逃さないようにしていきたいと思いました。

定期的にヒヤリハット案件の研修があると、支援を見直すという意味で身が引き締まる。日々変わる世の中の動向も知れる良い機会です。また来月も期待してます。

## 定例会議8月分（事故の予防について2回目 ひやりはっと）の感想

ありがとうございました。役に立つ情報ばかりでした。

いろんなパターンのヒヤリハットがあり利用者様に合わせて予測予防をしたいと思いました。

この時期に重要な熱中症の振り返りをしていただき、再確認することができました。他のヘルパーさんの支援時の注意することも聞けて、とても参考になりました。